

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)  
定時株主総会 毎年6月下旬

単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

### 配当金のお支払について

第172期期末配当金は、同封の「第172期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、その裏面記載事項をご高覧のうえ、払渡期間(平成24年6月29日～平成24年7月31日)内にお早めにお受取りください。なお、お受取窓口を「みずほ銀行」「三井住友銀行」「三菱東京UFJ銀行」「みずほ信託銀行」「伊予銀行」から「ゆうちょ銀行および郵便局」へ変更させていただきます。また、銀行預金口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受取方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。

### 株式に関するお手続きについて

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	○未払配当金の支払、支払明細発行については、上記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 ○単元未満の買取以外の株式売買はできません。 ○電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。	

公告方法 電子公告(<http://www.rutsubo.com/>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### ルツボについて



5,000年以上の歴史を持つルツボは、人類に様々な文明をもたらしてきました。現在でも、自動車・電気機器・機械・IT機器・公共土木・住宅関連・環境関連部品の製造には欠かせず、まさに一国の産業を支える器(うつわ)です。そのサイズは、酒杯くらいのものから、大きいものは直径1m、高さ1.5mのものまであり、銅合金で5.5トン、アルミニウムで1.7トンを溶解できます。ルツボは器としての機能は変わっていませんが、その素材および製造技術は日進月歩であり、当社のルツボも最先端の技術により進化を続けています。アジアの経済発展が急速に進む今、様々な産業で大量の金属部品が必要とされ、そのために最高品質のルツボが求められています。当社のルツボは新たな時代のニーズに確実に応えています。



日本ルツボ株式会社  
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル  
TEL: 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191  
URL: <http://www.rutsubo.com/>



NIKKAN

# Report

## 第172期 報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

日本ルツボ株式会社  
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.  
証券コード 5355

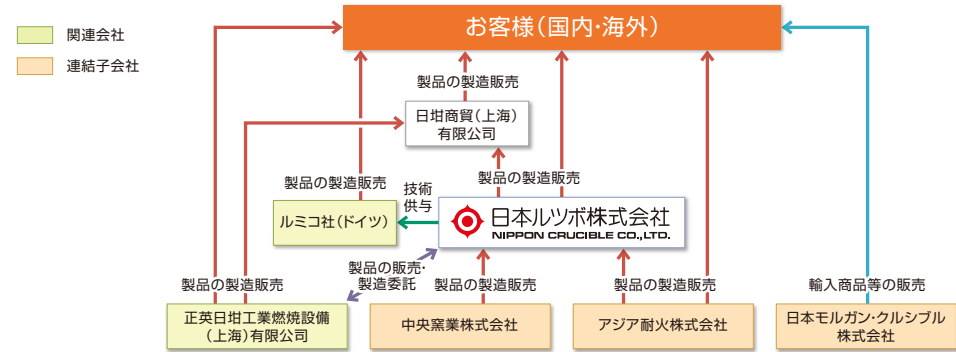
## 日本ルツボの事業戦略

### 用途開発・海外進出を積極的に加速します。

当社グループは、「新製品の開発」「新市場の開拓」「新事業の構築」に向け、競争力、収益力、成長力のある企業体質の確立を目指しております。新製品の開発については、原子力や太陽光発電関連向けなど、ルツボの鉄鋼・自動車関連以外の新しい用途への挑戦を続け、製品の実現化に成功しております。また、新市場の開拓については、上海の駐在員事務所を発展させ、設立した販売会社「日坵商貿(上海)有限公司」を拠点に、海外戦略の核に据える中国、東南アジアを中心とした積極的な海外進出により、マーケットをさらに拡大してまいります。

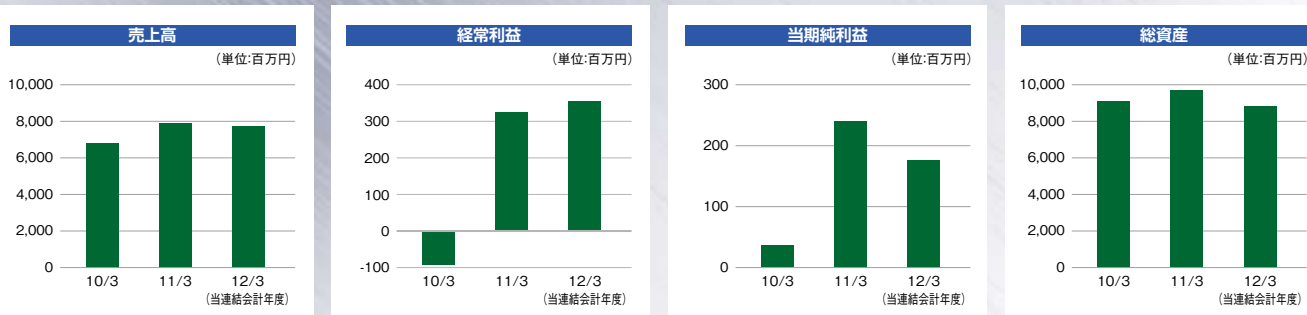


### グループとともに、さらに品質の向上に努めてまいります。



日本ルツボは皆様のニーズに応え、さらなる品質の向上を求め、本社、工場、関連会社など、グループの連携をより一層強めてまいります。

### 連結財務ハイライト



Message

株主の皆様へ

## グループ一丸となって、競争力、収益力、成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。

第172期(2012年3月期)の当社を取り巻く経営環境は、東日本大震災、タイ洪水、欧州財政危機に端を発した世界的な景気の減速、急激な円高、電力供給問題等不安定要素はあったものの、自動車産業を中心に緩やかながら回復基調で推移いたしました。主要取引先である自動車関連産業は円高の影響が懸念されますが、エコカー補助金の復活により国内生産は増産傾向にあります。また鉄鋼産業は、国内においては震災からの復旧に伴う建設・産業機械や自動車産業の需要が増加したものの、円高による輸出の減少などで、全体の生産量は前年比減少しております。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品および新製品の拡販活動を推進してまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は77億2千5百万円(前年同期比1億6千1百万円減)となりました。売上総利益は売上高および生産高の減少により前年同期比9千1百万円減少いたしました。経費面にお

いて前年の特殊要因がなくなったことおよび経費削減に努めた結果、営業利益では3億4千7百万円(前年同期比3百万円減)、経常利益は3億5千3百万円(前年同期比2千9百万円増)となりました。当期純利益は、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩により1億7千6百万円(前年同期比6千5百万円減)となりました。

当社の配当方針は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としております。第172期の配当に関しましては、当期の業績と当社を取り巻く経営環境などを勘案いたしまして1株につき2円とさせていただきます。

当社グループは「新製品の開発」「新市場の開拓」「新事業の構築」に向け、グループ一丸となって競争力、収益力、成長力のある企業体質の確立を目指し、邁進してまいります。

今後も株主の皆様よりの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

大久保正志

### 日本ルツボの経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を、目指します。

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。



当社は明治の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推進してまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。

## 耐火物、エンジニアリングの両事業において、中国、アジア市場へ積極的に進出。また、不動産賃貸事業も安定的に推移しています。

### ○事業内容

当社グループは、「アジアは内需」という考えのもとに、主力の耐火物事業はもとより、エンジニアリング事業においても、海外への展開を積極的に行っています。また、不動産賃貸事業では、安定収入の継続とともに土地有効活用も推進してまいります。

#### 耐火物事業

#### エンジニアリング事業

#### 不動産賃貸事業

- 非鉄金属用耐火物
- 鉄鋼用耐火物
- 焼却炉・溶融炉用耐火物
- 非鉄金属用工業炉
- 耐火物メンテナンス
- 本社賃貸ビル

- 銅・銅合金・亜鉛溶解・鋳造
- アルミニウム溶解・鋳造
- 鋳鉄溶解・鋳造
- 鋳鋼・特殊合金溶解・鋳造
- 銅・銅合金・亜鉛溶解・鋳造
- アルミニウム溶解・鋳造

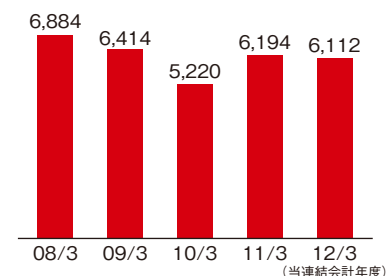
### 耐火物事業

耐火物事業の事業戦略は国内市場の掘り起こしを堅実に進めることはもとより、「アジアは内需」との認識を深め、「アジアNo.1」の地位を築くべく中国、アジア市場への進出を積極的に進め、それぞれの国、地域に貢献してまいります。その事業戦略の目指す方向性は「省エネ型製品」「環境に優しい製品」「次世代特殊金属溶解用製品」「現有製品の新たな用途開発」であり、これらの研究開発を積極的に進め顧客満足向上を図っております。

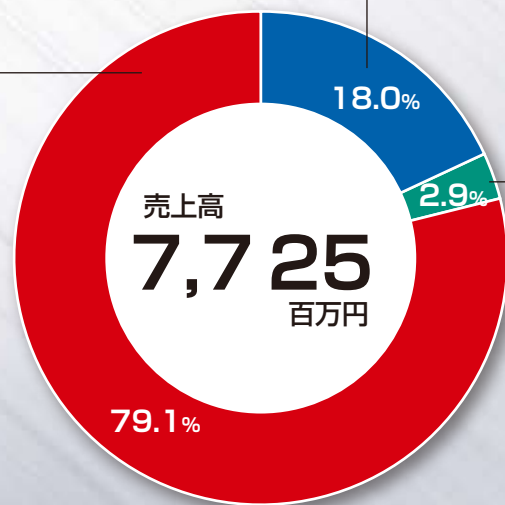
鋳造市場では、東日本大震災の復興が着実に進み、自動車産業の回復とともに売上は順調に回復してきました。しかしながら、産業界を取り巻く欧州経済危機の影響、原子力発電所全停止による電力の供給不安等で景気の先行き不透明な状況が懸念されますが「高周波誘導炉用ルツボ（ホワイトフェニックス）」、「省エネ型縦溝付ルツボ（ゼブラックス）」等の開発製品の拡販活動に積極的に取り組み徹底した品質管理での製品供給体制を確保してまいります。また、不定形耐火物を中心とする鉄鋼市場では、納期短縮、品質向上、コスト削減等の顧客要求に迅速に対応するとともに、技術サービスの強化を図りシェアの維持拡大に努めてまいります。

### 売上高 6,112百万円

(単位:百万円)



1. キュボラ用耐火物
2. 高周波誘導炉用ルツボ (ホワイトフェニックス)
3. フェニックスルツボ
4. 低レベル放射性廃棄物処理用ルツボ (キャスター)
5. 省エネ型縦溝付ルツボ (ゼブラックス)

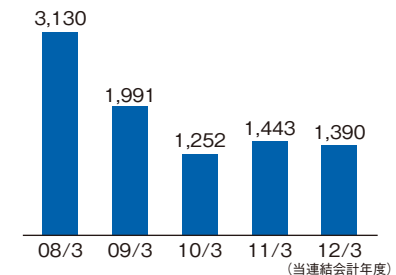


売上高  
**7,725**  
百万円

### エンジニアリング事業

### 売上高 1,390百万円

(単位:百万円)



メルキーパー エコカバリー クイックセッター

当社エンジニアリング部門は、いわゆる工業炉といわれる「非鉄金属用溶解炉・保持炉、並びに各種処理炉設計製作事業」と「耐火物メンテナンス事業」を推進しております。

築炉エンジニアリング事業では、昨年のタイ洪水で被害に遭われたお客様の早期再稼働に向け、当社炉の復旧工事に全力で取り組んでまいりました。国内においても「ルツボ式アルミニウム連続溶解兼保持炉(メルキーパー)」、「中小型溶解兼保持炉(NM炉)」などの省エネ、高歩留まり炉などの拡販に取り組んでおります。また、環境対策を追求した「省エネ型ルツボ式アルミリサイクル炉(エコカバリー)」の実証も終了し、中国および東南アジア市場での販路拡大に努めてまいります。

環境事業は、焼却炉市場で「特殊補修材(クイックセッター)」も順調に伸び、全国の多くの焼却設備で使用されております。耐火物補修工事も民間・自治体の焼却炉市場や民間溶融炉市場でシェアの拡大に努めてまいります。

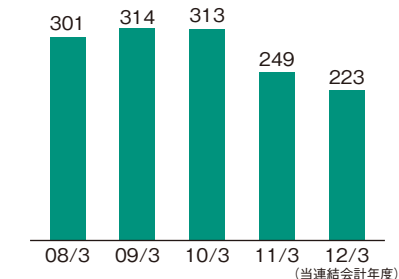
### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2002年12月本社ビル完成とともに開始した新規事業分野へ進出し、おかげさまで10年目を迎えることができました。インテリジェンスビルディングとして、ご利用いただけるテナント様のニーズにあった賃貸ビルを心がけております。

今後も不動産賃貸事業として本社賃貸ビルを中心に安定的な収入を確保しつつ、豊田工場敷地の一部について有効活用を推進してまいります。

### 売上高 223百万円

(単位:百万円)



# PICK UP

省エネ型ルツボ式アルミリサイクル炉



## モノづくり日本会議、日刊工業新聞社主催の「2011年「超」モノづくり部品大賞【環境関連部品賞】」を受賞いたしました。

日本ルツボは、煙の発生を抑えてアルミをリサイクルするルツボ式の省エネ炉「エコカバリー」を開発いたしました。アルミダイカストの不良品や切削加工の切粉を溶かして再利用する際に、樹脂や切削油などの付着物から煙が発生します。従来は前処理で付着物を取り除くため、リサイクルに余分なコストが発生していました。「エコカバリー」は、発生した煙を炉の中で還流させ、煙の熱を溶解に利用。酸化に弱いアルミを煙で包み、品質を保ってリサイクルの歩留まりを上げます。重量は約1.5tでルツボを採用したことにより重量を抑えられ、生産ラインの中に設置できるようにいたしました。



▲エコカバリー展示風景  
▲日刊工業新聞(2011年12月6日)掲載記事

【“超”モノづくり部品大賞】について  
世の中に流通している製品(完成品)に対し、普段目の見えない部品や部材に焦点を当て、わが国の産業・社会の発展に貢献することを目的として、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社により共催されております。「環境関連」以外に「機械」「電気・電子」「自動車」「健康・医療機器」「生活関連」の合計6部門があります。



## TOPICS 第12回耐火物統一国際会議 (UNITECR 2011) に 出展、および論文発表を行いました。

「耐火物-持続可能な地球環境を得る技術」をメインテーマに、2011年10月30日～11月2日に京都で開催された「第12回耐火物統一国際会議 (Unified International Technical Conference On Refractories=UNITECR)」にブース出展いたしました。当社は、独自のシリカフリー技術により、高炉の様々な操業変動に対して安定した出銲を実現する不定形耐火物の出展に加え、「省エネ型縦溝付ルツボ(ゼブラックス)」、「ルツボ式アルミニウム連続溶解兼保持炉(メルキーパー)」、「亀裂が入りにくい

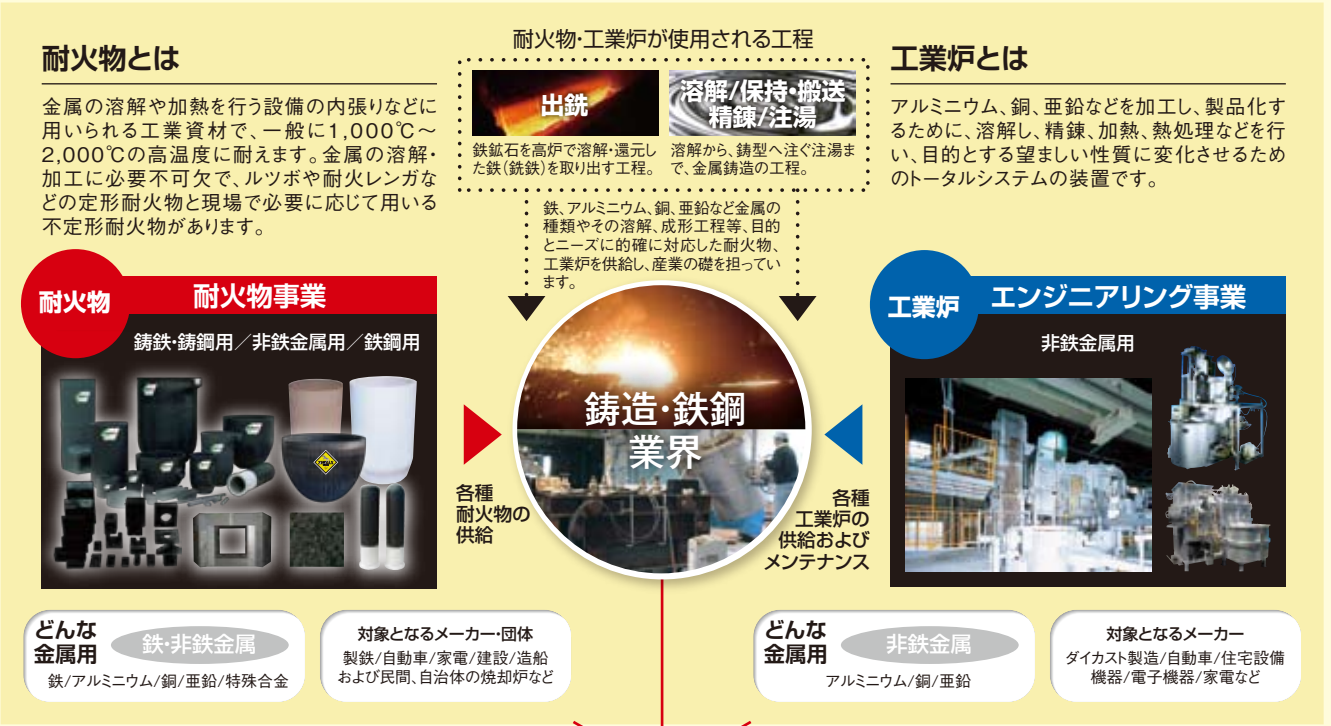
補修用パッチング耐火物(ラクコート)」の3件について論文発表を行いました。ゼブラックスルツボは、表面を工夫し熱効率を上げることで省エネを実現。メルキーパーは、ルツボ炉を組み合わせることで効率的な連続溶解・保持を実現。また、ラクコートは、溶解現場での補修用耐火物で特殊原料を活用し、亀裂が入りにくく施工感(使用感)向上を実現したものです。世界各国から、耐火物ユーザー、耐火物メーカー、大学、各研究機関の関係者が集まる中、ご来場の皆様に高い関心をいただきました。



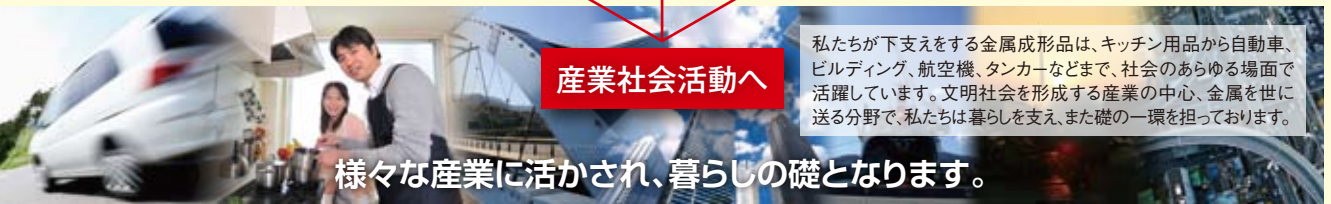
独自のシリカフリー技術を使用した鉄鋼用不定形耐火物  
ゼブラックス、メルキーパーについて論文を発表

## 私たちの事業について

私たちは、主に鑄造・鉄鋼業界に耐火物製品と工業炉設備を供給しております。



鑄造品製造会社からは様々な成形品が社会に供給されます。



◎ 連結貸借対照表

科目	当連結会計年度 2012年3月31日現在	前連結会計年度 2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,022,733</b>	<b>6,756,680</b>
現金及び預金	1,321,502	2,206,278
受取手形及び売掛金	2,940,427	2,833,146
たな卸資産	1,504,325	1,392,376
その他	257,379	325,680
貸倒引当金	△900	△800
<b>固定資産</b>	<b>2,807,300</b>	<b>2,948,229</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(1,625,611)</b>	<b>(1,796,843)</b>
建物及び構築物	1,003,196	1,048,527
機械装置及び運搬具	274,679	342,199
土地	95,775	96,379
その他	251,961	309,738
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(17,297)</b>	<b>(22,502)</b>
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(1,164,392)</b>	<b>(1,128,884)</b>
投資有価証券	554,166	508,874
繰延税金資産	216,938	302,071
その他	498,379	425,558
貸倒引当金	△105,091	△107,619
<b>資産合計</b>	<b>8,830,033</b>	<b>9,704,909</b>

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 2012年3月31日現在	前連結会計年度 2011年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,229,462</b>	<b>4,713,980</b>
支払手形及び買掛金	1,305,577	1,339,474
短期借入金	2,283,974	2,575,782
その他	639,911	798,724
<b>固定負債</b>	<b>1,681,980</b>	<b>2,238,345</b>
長期借入金	900,717	1,289,890
退職給付引当金	381,977	435,593
その他	399,286	512,862
<b>負債合計</b>	<b>5,911,442</b>	<b>6,952,325</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>2,870,406</b>	<b>2,734,639</b>
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	56,076	56,076
利益剰余金	2,178,782	2,042,980
自己株式	△68,972	△68,937
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>28,457</b>	<b>3,433</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>19,728</b>	<b>14,512</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,918,591</b>	<b>2,752,584</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,830,033</b>	<b>9,704,909</b>

POINT

- ① **流動資産** 現金及び預金が法人税、退職金、借入金返済、配当金支払などで、8億8千5百万円減少いたしました。たな卸資産は原材料が増加したことなどにより1億1千2百万円増加いたしました。
- ② **固定資産** 建物・機械装置が減価償却により、1億1千3百万円減少いたしました。税制改正及び退職金支払いに伴い、繰延税金資産を8千5百万円取崩いたしました。
- ③ **流動負債** 短期借入金が2億9千2百万円減少いたしました。
- ④ **固定負債** 長期借入金が3億8千9百万円減少いたしました。退職給付引当金が5千4百万円減少いたしました。
- ⑤ **株主資本** 利益剰余金が1億3千6百万円増加いたしました。

◎ 連結損益計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	前連結会計年度 自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
<b>売上高</b>	<b>7,725,308</b>	<b>7,886,668</b>
売上原価	5,588,426	5,658,445
<b>売上総利益</b>	<b>2,136,882</b>	<b>2,228,223</b>
販売費及び一般管理費	1,789,861	1,877,955
<b>営業利益</b>	<b>347,021</b>	<b>350,268</b>
営業外収益	79,624	57,583
営業外費用	73,650	84,263
<b>経常利益</b>	<b>352,995</b>	<b>323,588</b>
特別利益	2,239	83,493
特別損失	13,914	28,105
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>341,320</b>	<b>378,976</b>
法人税、住民税及び事業税	53,810	131,185
法人税等調整額	105,330	1,545
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>182,180</b>	<b>246,246</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>5,816</b>	<b>5,124</b>
<b>当期純利益</b>	<b>176,364</b>	<b>241,122</b>

◎ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	前連結会計年度 自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>22,357</b>	<b>457,455</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△141,049</b>	<b>153,537</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△765,944</b>	<b>△100,440</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△89</b>	<b>△2,155</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△884,725</b>	<b>508,397</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>2,067,627</b>	<b>1,559,230</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>1,182,902</b>	<b>2,067,627</b>

POINT

売上高は77億2千5百万円となり、前連結会計年度比1億6千1百万円減少いたしました。営業利益は3億4千7百万円と前連結会計年度比3百万円減少いたしました。営業外収益が増加したため、経常利益は3億5千3百万円と前連結会計年度比2千9百万円増加いたしました。法人税等調整額が1億4百万円増加したため、当期純利益は1億7千6百万円となりました。

◎ 連結株主資本等変動計算書 (自 2011年4月1日 至2012年3月31日)

(単位:千円、千円未満四捨五入)

項目	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
<b>2011年4月1日残高</b>	<b>704,520</b>	<b>56,076</b>	<b>2,042,980</b>	<b>△68,937</b>	<b>2,734,639</b>	<b>26,257</b>	<b>△2,846</b>	<b>△19,978</b>	<b>3,433</b>	<b>14,512</b>	<b>2,752,584</b>
<b>連結会計年度中の変動額</b>											
剰余金の配当			△40,562		△40,562						△40,562
当期純利益			176,364		176,364						176,364
自己株式の取得				△35	△35						△35
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					—	15,123	2,521	7,380	25,024	5,216	30,240
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>135,802</b>	<b>△35</b>	<b>135,767</b>	<b>15,123</b>	<b>2,521</b>	<b>7,380</b>	<b>25,024</b>	<b>5,216</b>	<b>166,007</b>
<b>2012年3月31日残高</b>	<b>704,520</b>	<b>56,076</b>	<b>2,178,782</b>	<b>△68,972</b>	<b>2,870,406</b>	<b>41,380</b>	<b>△325</b>	<b>△12,598</b>	<b>28,457</b>	<b>19,728</b>	<b>2,918,591</b>

個別財務諸表  
(要約)

◎ 貸借対照表

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当事業年度 2012年3月31日現在	前事業年度 2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,219,115	5,925,800
固定資産	2,531,484	2,675,622
資産合計	7,750,599	8,601,422
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,847,883	4,219,528
固定負債	1,515,512	2,066,835
負債合計	5,363,395	6,286,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,346,393	2,291,892
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	56,076	56,076
利益剰余金	1,654,769	1,600,233
自己株式	△68,972	△68,937
評価・換算差額等	40,811	23,167
純資産合計	2,387,204	2,315,059
負債・純資産合計	7,750,599	8,601,422

◎ 株主資本等変動計算書 (自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)

(単位:千円、千円未満四捨五入)

項目	株主資本							評価・換算差額等				純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	その他利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		配当準備 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金							利益 剰余金 合計
2011年4月1日残高	704,520	56,076	56,076	163,380	10,000	780,661	646,192	1,600,233	△68,937	2,291,892	26,013	△2,846	23,167	2,315,059
事業年度中の変動額														
剰余金の配当							△40,562	△40,562		△40,562				△40,562
当期純利益							95,098	95,098		95,098				95,098
自己株式の取得									△35	△35				△35
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										-	15,123	2,520	17,643	17,643
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	-	54,536	54,536	△35	54,501	15,123	2,520	17,643	72,144
2012年3月31日残高	704,520	56,076	56,076	163,380	10,000	780,661	700,728	1,654,769	△68,972	2,346,393	41,136	△325	40,811	2,387,204

◎ 損益計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当事業年度 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	前事業年度 自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
<b>売上高</b>	<b>7,309,145</b>	<b>7,432,047</b>
売上原価	5,459,395	5,468,013
<b>売上総利益</b>	<b>1,849,750</b>	<b>1,964,034</b>
販売費及び一般管理費	1,603,424	1,701,715
<b>営業利益</b>	<b>246,326</b>	<b>262,319</b>
営業外収益	60,526	44,669
営業外費用	67,382	76,084
<b>経常利益</b>	<b>239,470</b>	<b>230,904</b>
特別利益	2,239	83,493
特別損失	13,181	26,709
<b>税引前当期純利益</b>	<b>228,528</b>	<b>287,688</b>
法人税、住民税及び事業税	29,000	99,000
法人税等調整額	104,430	13,885
<b>当期純利益</b>	<b>95,098</b>	<b>174,803</b>

インフォ  
メーション

会社概要 (2012年3月31日現在)

社名	日本ルツボ株式会社 (登記上社名:日本坩堝株式会社) Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設立	明治39年(1906年)12月
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル TEL(代表) 03-3443-5551
資本金	7億452万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
会計監査人	有限責任監査法人 トーマツ
証券コード	5355
従業員数	企業団体の従業員数 204名(前期末比2名減) 当社の従業員数 152名(前期末比4名減)

役員 (2012年6月28日現在)

取締役会長	岡田 民雄
代表取締役社長	大久保 正志
常務取締役	佐野 俊昭
取締役	大橋 秀明
取締役	仁張 俊文
取締役	坂本 信治
常勤監査役	安田 哲夫
監査役	茂木 康三郎
監査役	草野 成郎

(注)常勤監査役安田哲夫氏、監査役茂木康三郎氏および  
監査役草野成郎氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	14,090,400株(自己株式570,148を含む。)
株主数	1,557名

大株主の状況 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
株式会社みずほ銀行	650,000株	4.80%
柏屋商事株式会社	550,000株	4.06%
ブリヴェ企業再生グループ株式会社	501,000株	3.70%
岡田民雄	455,000株	3.36%
株式会社みずほコーポレート銀行	438,000株	3.23%
野村信託銀行株式会社(信託口)	432,464株	3.19%
日本坩堝従業員持株会	399,000株	2.95%
東京海上日動火災保険株式会社	280,000株	2.07%
日本精鉱株式会社	254,000株	1.87%
三井住友海上火災保険株式会社	238,000株	1.76%

(注)1.当社は自己株式570,148株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
3.持株比率は、自己株式570,148株を控除して計算しております。

株式の分布 (2012年3月31日現在)

